

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 29 年 2 月

1. 対象事業	合流式下水道緊急改善事業																											
2. 実施主体名称	飯能市																											
3. 計画期間	平成 17 年 4 月から平成 26 年 3 月																											
4. 対象事業の進捗状況	<p>・計画の事業の進捗状況 飯能市浄化センターにおける対策 ①簡易処理量の適正化として、沈砂池に流入している、合流、分流の系統を個別化し、また、ポンプの増強を実施した。 ②簡易処理施設の高度化として、高速ろ過池を設置した。</p> <p>管路施設における対策 ③No.3 雨水吐上流側の遮集管を新設した。(管きょ内法寸法：400mm,450mm)</p> <p>吐口における対策 ④No.2 雨水吐にスクリーンを設置した。 ⑤No.1、3、4 雨水吐に水面制御装置を設置した。</p> <p>・工夫した点等 飯能市浄化センターにおける既存の最初沈殿池に、SPIRIT21 に示されている高速ろ過池を設けることで、事業の効率化を図った。 当初はきょう雑物の削減の手段として 4 箇所吐口にスクリーン設置を考えていたが、維持管理の面で有利と判断し、3 箇所では水面制御装置を導入した。</p>																											
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>・目標の達成状況</p> <table border="1"><thead><tr><th>対策項目</th><th>対策目標</th><th>数値目標</th><th>対策前</th><th>対策後</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">①汚濁負荷量の削減</td><td>分流下水道並み</td><td>BOD 101.4 t/年</td><td>BOD 148.6 t/年</td><td>BOD 99.9 t/年</td></tr><tr><td>雨天時放流基準</td><td>BOD 40 mg/L 以下</td><td>BOD 70 mg/L 以下</td><td>H26 39.4 mg/L H27 23.5 mg/L</td></tr><tr><td>②公衆衛生上の安全確保</td><td>未処理放流回数 の半減</td><td>28～50 回/年</td><td>57～100 回/年</td><td>28～47 回/年</td></tr><tr><td>③きょう雑物の削減</td><td>流出を極力防止</td><td>対策施設設置 雨水吐 4 箇所</td><td>対策施設なし</td><td>スクリーン 1 水面制御装置 3</td></tr></tbody></table> <p>・改善期限までの目標達成状況 計画期間内に遮集管の増強、スクリーンの設置、水面制御装置の導入、簡易処理量の適正化および簡易処理施設の高度化を進め、目標通りに達成できた。</p>				対策項目	対策目標	数値目標	対策前	対策後	①汚濁負荷量の削減	分流下水道並み	BOD 101.4 t/年	BOD 148.6 t/年	BOD 99.9 t/年	雨天時放流基準	BOD 40 mg/L 以下	BOD 70 mg/L 以下	H26 39.4 mg/L H27 23.5 mg/L	②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数 の半減	28～50 回/年	57～100 回/年	28～47 回/年	③きょう雑物の削減	流出を極力防止	対策施設設置 雨水吐 4 箇所	対策施設なし	スクリーン 1 水面制御装置 3
対策項目	対策目標	数値目標	対策前	対策後																								
①汚濁負荷量の削減	分流下水道並み	BOD 101.4 t/年	BOD 148.6 t/年	BOD 99.9 t/年																								
	雨天時放流基準	BOD 40 mg/L 以下	BOD 70 mg/L 以下	H26 39.4 mg/L H27 23.5 mg/L																								
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数 の半減	28～50 回/年	57～100 回/年	28～47 回/年																								
③きょう雑物の削減	流出を極力防止	対策施設設置 雨水吐 4 箇所	対策施設なし	スクリーン 1 水面制御装置 3																								
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>①汚濁負荷量の削減 簡易処理量の適正化、簡易処理施設の高度化により、吐口等からの未処理放流汚濁負荷量を削減した。モニタリング調査において、整備後の平成 26 年度以降では、平均水質 BOD 40mg/L 以下を達成している。</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 簡易処理量の適正化、遮集管の増強により未処理放流回数を半減した。</p> <p>③きょう雑物の除去 No.1、3、4 雨水吐に水面制御装置を設置、No.2 雨水吐にスクリーンを設置し、現地できょう雑物の捕捉を確認した。</p>																											

7. 事業の効率化に関する取組み状況	
<p>・新技術の導入状況</p> <p>飯能市浄化センターにおける既存の最初沈殿池に、SPIRIT21 に示されている高速ろ過池を設置した。</p> <p>施工費および維持管理費の削減を考えて水面制御装置を導入した。</p>	
8. 今後の方針	
<p>モニタリング調査を1回/年を実施してきており、今後も継続して実施していく。</p> <p>維持管理に合わせて、施設の耐震化事業及び長寿命化事業を推進していく。</p> <p>雨水による汚濁対策として、定期的な管きよ、雨水枡の清掃を実施していく。</p> <p>広報誌、HP、施設見学会等を利用した正しい下水道の使用方法をPRしていく。</p> <p>雨水抑制対策として、建築確認・排水設備の申請時に雨水浸透枡の設置について、市民に協力をお願いしていく。</p>	